FUKUSHIMA21RC

Rotary

福島 21 ロータリークラブ　2022-23 会報

■2022-2023 年度 会長 氏家 健　幹事 小林 利光
■例会場 クーラクーリアンテ サンパレス 福島市上町 4-30　■例会日 毎週木曜日（18：30）

イマジン ロータリー

2023年4月20日 (木)第35回(通算第993回) 例会 「ガバナー補佐訪問⑤」

■会長あいさつ

会長 氏家 健

皆様こんばんは。本日はガバナー補佐訪問で箭内ガバナー補佐よりスピーチをいただきます。ためになるお話が聞けると思いますので皆さん楽しみにしてください。

さて、今年度もあと２カ月となりました。皆さん、入会時にロータリーは奉仕活動をする団体だということは理解されていたと思いますが、合わせて寄付もとても大事な活動であります。

スマイルボックス、ロータリー財団、米山記念奨学生の３つの寄付をお願いしておりますが、まずスマイルボックスは当クラブの社会奉仕活動に活用する目的のもので、クラブにとってとても重要なものです。

次にロータリー財団への寄付ですが、年次基金やポリオなど用途を指定して寄付することができます。毎年それぞれの目標額が明示されています。その中の年次基金寄付は、３年後にクラブ全体の寄付額の1/4が補助金として地区に戻り、クラブの様々なプロジェクトの補助金として有効活用することができます。財団も米山も、各人の寄付額に応じて年に一度表彰をされます。

スマイルボックスへの寄付に対しても、当クラブでは30,000円以上、50,000以上達成された会員には表彰状と記念品を贈呈して感謝の意を表しております。

もちろんあくまでも個人の意思で強制するものではありませんが、世界でいいことをするためのものだという意識を持っていただき、ぜひご協力お願いできれば幸いです。以上です。どうぞよろしくお願いいたします。

福島21RCのうた

作詞 宗形 守敏
作曲 高橋 剛

吾妻の里は　天高く
永久 (とわ)にふく風　身に受けて
奉仕の心が平和に　回る回るよ風車
これぞ我等のロータリー
あゝ　福島21

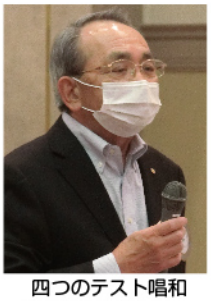
信夫の里は　水清く
永久 (とわ)の流れを　身にのせて
親睦の友と笑顔が　回る回るよ水車
これぞ我等のロータリー
あゝ　福島21

集いし地区は　福の島
生業栄えし　大河となり
大海原へ流れゆき　回る回るよ世界まで
これぞ我等のロータリー
あゝ　福島21

例会次第

●開会点鐘　会長 氏家 健
●ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
　ソングリーダー 阿部 正美会員
●四つのテスト唱和
　職業奉仕委員長 本柳 春男会員
●お客様紹介と会長あいさつ　会長 氏家 健
　本日のお客様 県北第一分区ガバナー補佐
　箭内 一典様
　分区幹事 高橋 正見様
　佐藤 龍史様
●委員会報告
　スマイル BOX／ロータリー財団／米山記念奨学会
●幹事報告　幹事 小林 利光
　～お食事をどうぞ～
●ガバナー補佐スピーチ
　県北第一分区ガバナー補佐 箭内 一典様
●閉会点鐘　会長 氏家 健

ソングリーダー
阿部正美会員



四つのテスト唱和
本柳春男会員

幹事報告～今後の予定～

・4月27日 (木)　福島駅西口清掃活動
・5月4日　(木)　休会⑩　(祝日)
・5月11日 (木)　創立記念例会
・5月18日 (木)　クラブ協議会①
・5月25日 (木)　クラブ協議会②

ガバナー補佐スピーチ

県北第一分区ガバナー補佐　箭内　一典様

本日が五回目のガバナー補佐訪問ですので、私にとって今回がガバナー補佐として最後の訪問となりました。

福島21ロータリークラブの皆様には１年間大変お世話になりました。

さて、福島ロータリークラブの例会場の入口ドアのところに「入りて学び、出でて奉仕せよ」の掲示幕が下げられています。　私は例会場に入る時、この幕を目にすると背筋が伸びる思いがします。また、この標語が好きだというロータリアンも多いと思います。

ご存じの方も多いと思いますが、この標語は１９４７－４８年度 RI会長のケンドリック・ガンシーさんの会長年度のテーマでした。英語では「Enter to learn, go forth to serve.」です。（図１）

「１人１業種で選ばれた会員が、例会では親睦を深め、お互いに研鑽し、奉仕の理念を学び、そして会場を出たら、職場・業界・地域社会で学んだ「奉仕の心」の実践をしなさい」というメッセージだと私は思っています。

その後、この標語は世界のガバナーエレクトが一堂に集い、学習する国際競技会会場の入り口に１９４９年から２０１３年までの64年間、掲げられていたそうです。しかし、２０１４年には「Join Readers, Exchange ideas, Take action」に標語が書き代えられ、昨年までの9年間この標語が掲げられていました。

今年２月に右近八郎ガバナーエレクトの地区チーム研修セミナーが開催されましたが、右近ガバナーエレクトのお話では、今年のオークランドの会場入り口には、ただ「Welcome to the international assembly」と書いてある垂れ幕がかかっていたそうです。最近の国際ロータリーが「職業奉仕の理念」から乖離して来ていると感じるのは私でだけでしょうか。

図1

図2　クラブセントラル　目標設定項目　ロータリー賞は１３以上達成

1	会員増強	14	奉仕プロジェクト
2	奉仕活動への参加達成	15	ローターアクトクラブ
3	新会員の推薦	16	インターアクトクラブ
4	ロータリー行動グループへの参加	17	来訪する青少年交換学生
5	リーダーシップ養成への参加達成	18	派遣する青少年交換学生
6	地区大会への出席	19	RYLA参加者
7	ロータリー親睦活動グループへの参加	20	クラブ戦略計画
8	地区研修への参加	21	インターネット上の存在感
9	年次基金への寄付	22	親睦のための活動
10	ポリオプラス基金への寄付	23	ウェブサイトとソーシャルメディアの更新
11	大口寄付	24	クラブのプロジェクトのメディア掲載
12	増強友の会会員	25	ロータリー作成の公式推進用資料の使用
13	ベネファクター		

会員の増強と参加促進　ロータリー財団への寄付　奉仕　若いリーダー　公共イメージ

さて、今年度もあと二か月余りとなり、佐藤正道ガバナー事務所から各クラブがロータリー賞を獲得出来るよう支援するように通達が来ております。

ロータリー賞は、各年度に優れた取り組みを行ったクラブを表彰するものです。

ロータリー賞の目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、奉仕活動を活発化し、また効率的に運営するための一助となるとが期待されます。

クラブ会長は、ロータリー賞の達成を目指して、ロータリークラブ・セントラルにある 25 の目標のうち、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を少なくとも 13 の目標を選びます。　（図２）さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。ただし、会員数や財団への寄付額は自動的に集計された数字が表示されます。過半数の13項目以上の達成がロータリー賞の条件です。昨年度の県北第一分区は全クラブロータリー賞を獲得しております。

今年度の３月末時点で、ロータリー賞獲得の条件の13項目を達成しているクラブは、二本松ロータークラブ、福島西ロータリークラブ、二本松あだたらロータリークラブの3クラブです。今年度も県北第一分区全クラブがロータリー賞を獲れるようご尽力お願いします。

次に、県北第一分区の会員数ですが4月15日現在で355名と、年度初めの７月１日の会員数に比べ12名の増加となりました。御覧の通り、福島 RCさんが４名増の９９名、二本松 RCさん１名増の４０名、福島南 RCさんが１名増の66名、福島西 RCさんが1名増の25名、福島中央 RCが１名増の４８名、二本松あだたら RCさんが2名の３７名、福島２１RCさんが４名増の42名となっております。（図３）

２５３０地区全体を見ると、今度初めの２１６５名から4月15日時点では２２１４名に増えており、49名の純増となっています。現在のところ昨年同時期に比べかなり良い増加数となっています。大幅増強となっているクラブを申しあげますと、富岡 RCが１３名増加で38名が５１名に、本宮 RCが８名増で34名が４２名に、いわき平東 RCが８名増で38名から４６名に、会津若松南RCが５名増で14名が１９名に、喜多方RC５名増で43名が４８名に、浪江 RC５名増で42名が４７名に、また原町 RCが5名増で21名から26名に、それぞれ増加しております。

ロータリー財団の寄付額状況です。　ご存じのように、地区目標は年次寄付1人あたり150ドル、ポリオ30ドル、

ベネファクター恒久基金1000ドル寄付１名、です。福島 RCが年次寄付1人当たり２４１ドル、ポリオ41ドル、ベネファクター1名で、３項目の地区目標をすべて達成しています。福島西 RCが年次基金とポリオ寄付の2項目をクリアしています、地区全体の平均は、年次基金58ドル、ポリオ15ドルで2月末の集計では全国34地区中３１位と下位に低迷しています。

次は米山奨学金寄付額です。地区目標は今年度も普通寄付1人当たり5,000円、特別寄付10,000円ですが、県北第一分区の全クラブが普通寄付は5,000円をクリアしています。特別寄付の1人あたり10,000円を達生しているのは、福島ロータリークラブの1人あたり12,663円と、福島中央ロータリーの10,851円の2クラブです。また、2530地区の普通・特別寄付合計額の一人当たり寄付金額は、2月末集計では約9500円で全国34地区中24位となっています。

県北第一分区の会員数の推移

図3

クラブ名 順不同	2021/7/1	2022/7/1	2023 4/15	比較増減
福島ロータリークラブ	94	95	99	4
二本松ロータリークラブ	37	39	40	1
福島南ロータリークラブ	70	65	66	1
福島西ロータリークラブ	23	24	25	1
福島中央ロータリークラブ	50	47	46	-1
二本松あだたらロータリークラブ	35	35	37	2
福島21ロータリークラブ	41	38	42	4
合計	350	343	355	12

さて、今年度の県北第一分区の事業ですが、全部で１０の分区事業を各クラブにホストをお願いして、実施を予定していました。しかし、１番目の福島中央 RCにホストをお願いしていたガバナー歓迎晩さん会が、県内の新型コロナ患者発生数が８月のお盆過ぎになっても、１日1,000人～3,000人で推移している状況を鑑み、中止といたしました。また、５番目の新世代会議は福島西 RCさんがホストでしたが、参加者の高校生間にコロナ感染が生じた場合、大切な時期の学業等に支障出るという事で、中止に致しております。それ以外の６つの事業は、各クラブのご尽力で、予定どおり実施されました。また、分区事業ではありませんが、1月4日には、福島西ロータリークラブがホストクラブで、8クラブ合同新年会が開催されました。飯坂ロータリークラブのメークアップもあり、総勢220名で2年ぶりに盛大に行われました。（図４）

まだ実施していない事業は、福島中央 RCがホストで、４月２２日(土) 実施予定の「あれこれなんでも相談会」、４月２３日(日) の福島南 RCにホストをお願いしている、「県北第一分区親善ゴルフ大会」の２だけとなりました。

皆様には１年間大変お世話になりました。

図4

2022-23年度　県北第一分区　年間行事予定及びホストクラブ

	予定行事	ホストクラブ	開催予定日 開催時間	曜日	会場	備考
1	ガバナー歓迎晩餐会　中止	福島中央RC	2022年9月2日 18:30	金	クーラクーリアンテ	ガバナーへ記念品
2	新会員セミナー	福島21RC	2022年9月10日 15:00	土	クーラクーリアンテ	県北第二分区共同開催 ※美川RC　セミナーのみ
3	スポGOMI大会	福島RC	2022年9月25日 10時開会～12時	日	まちなか広場付近	県北第二分区共同開催
4	フェローシップ（会員の健康増進・親睦）	福島RC	2022年10月16日	日	とうほう・みんなのスタジアム	ポリオデー開催
5	新世代会議　中止	福島西RC	2022年11月26日	土	エルティ	
6	県北第一分区次期幹事セミナー	二本松RC	2023年2月4日	土	二本松アーバンホテル	
7	インターシティミーティング（I・M）	二本松あだたらRC	2023年2月25日 13:00	土	二本松御陵	
8	女性生理対因寄付事業	県北第一分区	2023年3月7日 14:00		二本松男女共生センター	2021-22年度引継ぎ事業
9	あれこれなんでも相談会	福島中央RC	2023年4月22日	土	802	
10	親善ゴルフ大会	福島南RC	2023年4月23日	日	民報コース	
【参考】						
※	福島市内8RC合同新年例会	福島西RC	2023年1月4日			

スマイル BOX

箭内一典県北第一分区ガバナー補佐様　高橋正見分区幹事様　佐藤龍史分区幹事様
氏家　健　安部　宏　佐々木廣充　阿部正美　藤野圭史　佐藤　敬　本田勝秋
野崎正広　本柳春男　木村幸二　松本和彦　菱沼勝秋　渡辺浩子　今泉　睦
大内久美子　渡邊邦彦　櫻井　芸　吉川未枝子

■ロータリー財団 BOX

氏家　健　佐藤信博　安部　宏　佐々木廣充　阿部正美　藤野圭史　本田勝秋　野崎正広
本柳春男　松本和彦　菱沼勝秋　渡辺浩子　渡邊邦彦　吉川未枝子

■米山記念奨学会 BOX

氏家　健　佐藤信博　安部　宏　阿部正美　藤野圭史　本田勝秋　本柳春男　菱沼勝秋
勝嶋正幸　吉川未枝子

【出席報告】会員42名　出席者19名　出席率58.33%　出席免除者14名　休会者0名

国際ロータリー第 2530 地区 県北第一分区　福島 21 ロータリークラブ
事務所　〒960－8001 福島県福島市天神町 13－5　アンビックス５　201 号室 TEL：024－525－2331　FAX：024－525－2332
H.P. https://www.fukushima21rc.jp　E-mail　f21rc@fukushima21rc.jp